



# 学校だより

【小豆沢学びのエリア】  
(志村二小・志村四小・志村二中)  
令和5年11月1日  
板橋区立志村第二小学校  
校長 高野 康弘

【学校教育目標】 ○明るく思いやりのある人 ○よく考える人 ○たくましい人

## 全国学力・学習状況調査の結果

校長 高野 康弘

本年度、6年生が実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

### ○令和5年度

平均正答率 %	国語	算数
志村第二小	74	70
東京都	69	67
全国	67.2	62.5

### ○令和4年度

平均正答率 %	国語	算数
志村第二小	70	71
東京都	69	67
全国	65.6	63.2

昨年度と比較しても本校の学力の状況は、全国及び東京都の平均正答率を上回る状況が続いています。また、平均正答率とともに考慮したいこととして、まったく問題を解くための糸口が全く分からずに何もできない、いわゆる「無解答率」が、本校児童においては、2～3%（2～3人）という結果でした。昨年度と比べておよそ1%増加しましたが、問題と真剣に向き合い、最後まで諦めずに取り組もうとする姿勢が現れているといえます。教科別に見ると、次のような傾向があります。

#### 【国語】

全国及び東京都の平均正答率を5～7%程度、超えています。平均正答率は昨年度と比べて4%アップしています。特に漢字に関する問いや、この文章の特徴について説明しているのはどれかを尋ねる問い等は、正答率が高い傾向にあります。しかし「与えられた条件を使用したり、資料から分かることを入れたりして解答する問い」については正答率が低く、21.6%となっています。この問いは、お米作りに関する問題点と解決方法を記述する、という内容でした。答えを導き出すために、必要な情報の使用法や時系列に沿った書き方等が苦手な児童が多く、問題文を基にした、文のまとめ方に苦手意識をもっている児童が多いことが分かります。また、本校の校内研究において児童にとったアンケートの結果からも、「友達の考えを聞くことは楽しかったり有意義であったりする」と感じる児童は多いのですが、「自分の意見を言うことはあまり好きではない」と感じている児童が多いことが分かっています。共感して新しい考えを共に見付けていくことはできる傾向にあります。ですが、自分自身で問題を解決していく時に、不安を抱えていたり、どの情報を使えば自分の意図が伝わりやすくなったりするかが分からない様子が見られます。情報の取捨選択をしたり、物事の順番を考えて因果関係を明らかにしていったりする体験を、更にしていく必要があるといえます。

#### 【算数】

全国及び東京都の平均正答率を4～8%程度、超えています。計算をする問題や、四角形の名称を答える等の知識・理解を問う問題は正答率が高いです。その反面「その答えを選んだわけを書く」設問では、理由を説明することができない児童が多く、ある問題では28.4%の正答率となっています。これは、公式を覚えていれば答えを導き出すことができると考えている児童の多さが顕著になっているのではないかと考えられます。例えば、長方形の面積を求める公式は「縦×横（横×縦）」ですが、なぜこの公式なのか、と問われると答えられない、というようなものです。「どうしたら公式を作ることができるだろうか」という、理由を説明する学習をこれからも特に意識して授業作りする必要があると考えられます。その際、具体的に言葉や数を提示し、説明する時に使うことができるようにしたいです。

#### 【児童質問紙】

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」についての質問は、実におよそ98%の児童が肯定的に捉え、役に立ちたいと考えています。また「国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という質問に対してはどちらも95%以上の児童が肯定的に捉えており、目的意識をもち、どんなこともきっと自分の力になると信じて邁進している児童の姿が現れているといえます。志村第二小学校ではICT機器を様々な場面で使用する機会を設けていますが、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、PC、タブレット等のICT機器を、勉強のために使っていますか。」の質問に対しては「30分より少ない」と「1時間より少なく、30分より多い」の解答比率の合計はおよそ70%と、デジタルを活用して学習を進める習慣が身に付いている児童が多いようです。「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問については、およそ10%の児童が否定的な「楽しくない」の回答をしています。昨年度は22.6%でしたので、減少傾向であるといえます。本校の学校経営方針の一つ「あしたも学校に来るのが楽しみな児童」をめざし、指導してまいります。

#### 皆様に支えられた運動会

運動会開催にあたり、保護者の皆様、奨学会の皆様、おやG、iCS、地域の皆様には、準備から片付けまでお手伝いいただきました。また、片付けの際には、志村第一中学校・第二中学校に通う本校卒業生が

率先して手伝ってくれました。その姿を見てとても感動しました。皆様、本当にありがとうございました。

【 11月行事予定 】

★・・・スクールカウンセラー来校日

□は朝の時間の予定です。

日	月	火	水	木	金	土
10/29	10/30 ★	10/31	11/1	2	3	4
	全学年【5】	全学年【5】	全学年【4】 1年1組【5】	1～4年【5】 5～6年【6】		
	全校朝会 タイピング練習	朝学習 2年町探検	B時程 安全指導 1年校内研究授業	B時程 4・5・6年委員会活動	文化の日	
5	6 ★	7	8	9	10	11
	1～2年【5】 3～6年【6】	1年【5】 2～6年【6】	全学年【5】	1～2年【5】 3～6年【6】	1～3年【5】 4～6年【6】	全学年【5】 ※給食有
	音楽朝会	B時程	B時程 避難訓練	展覧会オープニング 展覧会1日目	展覧会の連絡 展覧会2日目	展覧会 3日目
12	13	14	15	16	17	18
		1年【5】 2～6年【6】	全学年【5】	1～2年【5】 3～6年【6】	全学年【3】 就学時健診のため ※給食有	
	振替休業日	朝学習 TOFAS(4-2)	B時程	音楽朝会 TOFAS(4-1)	B時程 TOFAS(4-3)	
19	20 ★	21	22	23	24	25
	1～2年【5】 3～6年【6】	1年【5】 2～6年【6】	全学年【5】		1～3年【5】 4～6年【6】	
	全校朝会 タイピング練習	ありがとう集会 TOFAS(5-2) TOFAS(5-3)	B時程 2年生活科見学 TOFAS(5-1)	勤労感謝の日	たてわり班活動 (落ち葉拾い) 4・5・6年クラブ活動 5・6年イングリッシュキャラバン	
26	27 ★	28	29	30	12/1	2
	全学年【5】	全学年【5】	全学年【4】	全学年【4】	全学年【4】	
	全校朝会	朝学習	B時程 4年社会科見学 個人面談①	たてわり班活動 (落ち葉拾い) 個人面談②	たてわり班活動 (落ち葉拾い) 安全点検 個人面談③	

☆11月の生活目標☆  
**進んで仕事をしよう**

**総合的な学習の時間**

4年担任より

4年生は総合的な学習の時間で「災害について知り、そなえよう」に取り組んでいます。10月16日(月)には、1年生の担任の中川あゆみ先生から東日本大震災の震災経験について話を聞きました。学習後の子どもたちの振り返りには、「都内とは比べ物にならないくらい大きな被害があることがわかった」、「大きな地震の時には転倒防止のベルトは逃げるための時間かせぎであることがわかった」、など、震災の恐ろしさをそれぞれに感じていました。この学習をきっかけとして、防災について意識を高め、自分に何ができるのか考えさせていきたいと思っています。

**生活科見学 (1年生)**

10月24日(火)に、高島平にある板橋区立こども動物公園へ、生活科見学に行きました。1年生にとって初めての電車での移動でした。公共の乗り物のルールをしっかりと守りながら、目的の駅まで向かうことができました。動物公園内では、モルモットやヤギ、ヒツジなどの動物と触れ合いました。「毛がふわふわだ。」、「鼻がヒクヒク動いているよ。」、「目をつぶっている。お日様に当たって暖かくて、なんだか眠そうだね。」など、よく動物たちを観察していました。



～ **生活科見学** ～

2年担任より

10月10日(火)に2年生の児童が町探検の学習のスタートとして、志村図書館へ見学に行きました。普段利用している時には見られない、返却ボックスの裏の様子や、たくさん本を保管している書庫などに入らせてもらい、特別な場所の紹介を受けました。また「本が泣いているよ」のコーナーでは、破れたページがあったり、噛み跡があったり、水をこぼされたりした状態で本を返されるともう貸し出しができなくなることも教えてもらいました。借りた本を大切に扱って、返そうという気持ちになりました。

その後は図書館司書の方にたくさん質問して、理解を深めました。

31日(火)は13か所の施設に見学に行く町探検です。準備を頑張っています。



**社会科見学 (6年生)**

10月17日(火)に、最高裁判所と国会議事堂へ、社会科見学に行きました。なかなか普段入ることのできない場所へ、見学をさせてもらうことに、喜びを感じている様子が見られました。国会議事堂では、参議院プログラムを体験しました。授業で学んでいた内容を、実際に体験したことによって、より学習を深められることができました。

行事がひとつ終わるごとに、卒業が近づいているようで少し寂しい気持ちにもなりますが、社会科見学での経験や思い出を前向きに捉えて、学校生活を過ごしていきます。